

被爆・終戦60年の今

三多摩青年合唱団あめあがりコンサート2005

# 「ふるさとの風に」

客演指揮・ピアノ 寺嶋陸也

指揮 峯崎りみ 杉森俊幸

ピアノ 笹有理子 峯崎道子

合唱 三多摩青年合唱団

三多摩青年合唱団第40期研究生

2005年あめあがりコンサート特別団員

あべがどうしようもなく

醜くなってゆく時代に、

救いヒキまではたならなくても、

希望も捨てない決意の

支えにはなるかもしれない

2005年11月26日(土)  
武蔵野市民文化会館大ホール  
午後6時30分開演

雪の窓辺で

薩摩 忠 詩  
 三善 晃 曲

その手の中に

砂入 りえ 詩  
 安広 真理 曲

青い空は

小森 香子 詩  
 大西 進 曲  
 青山 義久 編曲  
 宮田 剛 補作

オペラ『森は生きている』より  
 十二月の歌  
 四月とむすめ（一瞬の「いま」を）  
 森は生きている

林 光 台本／曲

お百度詣

大塚 楠緒子 詩  
 吉田 隆子 曲

死んだ男の残したものは

谷川 俊太郎 詩  
 武満 徹 曲  
 林 光 編曲

生きるーピアノのための無窮連禱による

谷川 俊太郎 詩  
 三善 晃 曲

〈 休 憩 〉

「雪の窓辺で」1964年作曲。「いろいろなヴァージョンを編曲してきたが、この混声版は1996年の合唱団「松江」のために書いた。一年を振り返る家族の情の絆を歌うこの曲では、混声4部の遠近法が最も奥行き深いものとなるだろう。（三善晃）。

「その手の中に」2002年作曲。愛娘の誕生をきっかけに作詞された。

「青い空は」副題を「鳥たちへの歌」という。1971年第17回原水爆禁止世界大会に発表された、第二の「原爆を許すまじ」。

「森は生きている」ロシアの詩人マルシャークの同名の児童劇から林光がオペラ化。1992年オペラシアター・こんにゃく座が初演。

「お百度詣」詩は1905年に発表。作曲は1953年。大塚楠緒子の詩は日露戦争に従軍した夫を思って。吉田隆子が歌曲としたのは太平洋戦争後。

「死んだ男の残したものは」1965年にベトナム戦争に反対する集会で発表。1971年に林光がピアノ伴奏付き混声合唱として編曲。作曲者自身による無伴奏混声合唱版もある。

「生きる」合唱曲集「木とともに 人とともに」に収録。「99年の大晦日午後から2000年元旦にかけて作曲した。1900年代最後の日、逝った友人たちを想いながらピアノを引き続けているうちに、その谷川さんのこの詩の語句が聞こえてきた。」（三善晃）

## 『ふるさとの風に』— 混声合唱とピアノのための

竹内 浩三 詩  
寺嶋 陸也 曲

東京

雲

三ツ星さん

夜汽車の中で

海

白い雲

## ふるさとの風に 寺嶋陸也

今回の新作のテキストとして、竹内浩三の詩に作曲をしてほしい、というのは三多摩青年合唱団からの要望だった。

竹内浩三が有名な「骨のうたう」や「日本が見えない」などの詩だけでなく、小説やシナリオ、漫画にいたるまで、さまざまな創作を残しているなかで、数の上では決して多いとはいえない詩のほとんどは、強い感受性によって捉えられた世界を新鮮に歌っているものである。《ふるさとの風に》は、それらの詩のなかから比較的短い6編を選び、組曲とした。

60年前に戦死した若者の声を、現代に生きる私たちがどのように捉え、どのように表現できるのだろうか。このことは、この詩人の作品と向きあう以上は、避けることのできない重いテーマとなって私たちにのしかかってくる。その重みを感じつつ、しかし、そのテーマ自体やそれとの葛藤を示すのではなく、また、若者の境遇に同情をよせたりするのでもなく、あくまでも音楽として詩の中味を表現するのが、作曲や演奏のふさわしいありかただと、私は信じている。

この曲を聴いてくれる人たちの胸の中に、単なる理解を超えた、新しい波紋を呼び起こすことができれば、と思う。

## ● 竹内 浩三 ●

1921年、三重県宇治山田市の商家に生まれ、23歳の若さで戦死した。

中学時代から詩、漫画、小説など数多く執筆。戦後、手帳にぎっしり書き込まれた日記や本の片隅に走り書きされたことばなどが掘り起こされ、少しづつ出版されると「日本が見えない」「骨の歌う」などを筆頭に注目を浴びた。

浩三のことばは何よりも分かりやすく、技巧的な飾りがなく、それでいて独特な語り口の中にどきりとさせられるリアリティがある。時に、昨日書かれたのではないかと読むものを錯覚させるほど生き生きしている。

「戦争は悪の豪華版である」「戦争しなくとも、建設は出来る」と語った浩三のことばは、同じ時代に生き、そして死んでいった何万何十万の「竹内浩三」の想いを、60年の時を超えて、今生きる若者にストレートに発信している様な気がしてならない。

## 宮崎駿アニメ編曲集

寺嶋 陸也 編曲

もののけ姫

宮崎 駿 詩  
久石 譲 曲

君をのせて

宮崎 駿 詩  
久石 譲 曲

風の丘

久石 譲 曲

さくらんぼの実る頃

ジャン＝バティスト・クレマン 詩  
三多摩青年合唱団 訳詩  
アントワーヌ・ルナル 曲

となりのトトロ

宮崎 駿 詩  
久石 譲 曲

## 宮崎駿アニメ編曲集

寺嶋陸也

ご存知、宮崎駿監督によるアニメーション映画で使われた歌の編曲集。  
うつのみやレディーシンガーズ晶〈AKIRA〉のために1998年に編曲したものを、混声合唱に編曲しなおした。今回の演奏が混声版初演となる。

それぞれの曲が登場する映画とその製作年は次の通り。

もののけ姫	「もののけ姫」1996
君をのせて	「天空の城ラピュタ」1987
風の丘	「魔女の宅急便」1989
さくらんぼの実る頃	「紅の豚」1992
となりのトトロ	「となりのトトロ」1987

なお、「さくらんぼの実る頃」Le temps des cerises はもともと映画のために作られた曲ではなく、J.B.クレマン作詞、A.ルナル作曲によって19世紀後半に作られたシャンソンである。原語フランス語で編曲したが、今回は三多摩青年合唱団の訳詞で演奏される。そのほか4曲はすべて久石譲作曲で、スキヤットで歌われる「風の丘」をのぞく3曲の作詞は宮崎駿による。